



稲 沢 市

議会だより

No. 152

11/15

9月定例会、10月臨時会



新たなメンバーで初議会（10月臨時会・10月13日）



「いなッピー」
「黄葉まつりバージョン」

■ 議員名簿 新体制30人でスタート	2 P
■ 一般質問・質疑 9月定例会8人が一般質問	4 P
■ 9月定例会 一般会計補正予算 3億4,491万6,000円の増	7 P
議決結果	7 P
■ 10月臨時会 議長・副議長の選出、常任委員会委員等の構成	8 P
■ 12月定例会開催予定	8 P

稲沢市議会議員選挙が執行されました

新しい議員を紹介します

①氏名(年齢)
 ②住所
 ③電話番号
 ④期数
 (合併前の期数)
 (11月1日現在)
 (議席順に掲載)



4

①加藤孝秋(55)
 ②井之口北畑町118番地
 ③0587-32-8598 ④1



3

①東野靖道(64)
 ②下津片町31番地1
 ③0587-23-2226 ④1



2

①大津丈敏(61)
 ②高御堂二丁目19番8号
 ③0587-32-4458 ④1



1

①向嶋政雄(48)
 ②稲島四丁目29番地2
 ③0587-21-3191 ④1



8

①木村喜信(61)
 ②奥田白山町26番地1
 ③0587-22-0248 ④2



7

①六鹿順二(60)
 ②正明寺二丁目7番26号
 ③0587-21-2568 ④2



6

①平田光成(52)
 ②東緑町二丁目51番地10
 ③0587-34-5015 ④2



5

①析本敏子(49)
 ②下津片町178番地1
 ③0587-23-6274 ④3



12

①平野寛和(64)
 ②平和町西光坊新町90番地
 ③0567-46-3335 ④2(1)



11

①網倉信太郎(68)
 ②祖父江町神明津2716番地
 ③0587-97-4591 ④2



10

①渡辺 菱(68)
 ②祖父江町甲新田六軒80番地
 ③0587-97-2338 ④3(1)



9

①内藤悦雄(62)
 ②小沢四丁目1番1号
 ③0587-21-1754 ④2



16

①曾我部博隆(57)
 ②祖父江町本甲神明前75番地23
 ③0587-97-6105 ④3(4)



15

①魚住 明(59)
 ②奥田神ノ木町20番地1
 ③0587-21-9206 ④2



14

①遠藤 明(45)
 ②西町三丁目1番22-806号
 ③0587-24-8164 ④2



13

①木全信明(56)
 ②稲島八丁目16番地
 ③0587-32-3772 ④1



20

①加藤錠司郎(56)
②六角堂西町一丁目1番地8
③0587-32-2337 ④3



19

①山田一己(65)
②梅須賀町2167番地
③0587-36-2458 ④3



18

①長屋宗正(62)
②日下部西町二丁目43番地5
③0587-21-8352 ④3



17

①渡辺幸保(60)
②小池三丁目3番22号
③0587-23-5783 ④6



24

①服部 猛(63)
②平和町東城郷内166番地
③0567-46-0461 ④3(1)



23

①野々部尚昭(41)
②平野町二丁目23番地
③0587-32-7272 ④5



22

①今井公平(70)
②田代二丁目5番1号
③0587-36-3581 ④4



21

①杉山茂和(66)
②西島一丁目201番地1
③0587-36-5937 ④3



28

①星野俊次(36)
②駅前三丁目2番21号
③0587-32-9905 ④3



27

①野村英治(58)
②祖父江町中牧486番地
③0587-97-0019 ④3(2)



26

①川合正剛(51)
②祖父江町祖父江下川田35番地13
③0587-97-0545 ④3(2)



25

①出口勝実(61)
②平和町上三宅芳山46番地
③0567-46-4333 ④3(1)

当選回数・年齢別議員数			
当選回数	議員数	年 齢	議員数
1回	5人	30歳～39歳	1人
2回	7人	40歳～49歳	4人
3回	7人	50歳～59歳	8人
4回	4人	60歳～69歳	16人
5回	5人	70歳～79歳	1人
6回	1人	平均年齢 58.4歳 最年少者36歳、最年長者70歳	
7回	1人		

※当選回数には、合併前（旧祖父江町、旧平和町）の回数を合算しています。



30

①桜木琢磨(68)
②片原一色町吹上4番地1
③0587-36-1451 ④5



29

①栗田文雄(68)
②祖父江町祖父江七曲11番地2
③0587-97-3680 ④3(2)

市民の代表として、市民本位の市政に邁進します。
これから4年間よろしくお願いします。

一般質問・質疑

平成23年第4回9月定例会では、玉田欽也、曾我部博隆、網倉信太郎、茶原孝子、渡辺幸保、栗田文雄、安井利彦、箕浦徹夫 の8議員が質問をしました。主な質問及びその答弁の要旨は次のとおりです。

問 地域福祉活動は、小さな圏域で

厚生労働省の「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」では、地域福祉活動のための圏域として五つの層（①組・班②自治会・町内会③学区・校区④支所⑤市町村）が例示され、これを踏まえて、小さな圏域での活動が重要であると以前に答弁された。

しかし、本年6月議会では、市圏域での地域活動を考えているような答弁であった。なぜこのような見解になったのか。

答 行政区単位が望ましいが、地域事情を考慮

20年9月議会では、より小さな圏域での活動が重要であると答弁した。その意味において「向こう三軒両隣」の取り組みは、地域福祉の根幹をなし、重要であると考えている。行政区も住民の生活課題を見出し、解決する身近な組織として重要であることも認識している。

答弁後も地域福祉の担い手

として検討してきたが、地域の事情が異なり、いかにしてこの事情を考慮しながら推進していくか苦慮している。短期間での役員交代、自治会加入率の低下、地域住民関係の希薄化などで苦勞されている行政区もある。このような行政区において地域福祉活動に対する限界から、これを踏まえて6月議会では答弁した。地域福祉を進めていく上で、行政区を圏域とする取り組みは必要であるという認識は変わっていないが、それぞれの地域事情を汲み取りながら取り組む必要があると考えている。

問 小学校外国語活動への取り組み状況は

教育委員会の自己点検・評価報告書（平成23年3月）によれば、「平成23年度より外国語活動が小学校高学年において必須になるため、ALT（語学指導助手）の配置計画等を含め指導内容や指導方法の研究・教師の力量向上が急務である。」としている。どう取り組んでいるのか。

答 9名のALTを配置

本年度から小学校外国語活動が本格実施となり、小学校を中心に9名のALTを配置している。

小学校外国語活動は、中学校での英語指導とは違い、音声を中心に外国語に慣れ親しむ活動が中心となっており、小学校外国語活動推進事業の推進校による研究成果である指導計画例を参考に、各校が取り組んでいる。

教職員の力量向上については、同事業において、ALTも参加して研修を年4回設け、研究成果を各小学校へ還流するように努めている。

ALTは、各学校での教職員の研修会や夏季休業中の親子外国語活動の参加や海外派遣事業でカナダへ行く生徒への語学指導などを行っている。



ALTによる授業風景(清水小学校)

問 職員は現場主義に基づき、職務を遂行しているか

①現場主義という言葉がよく使われるが、課税・農務・商工観光課職員は、この現場主義の立場からどう行動すべきと考えているのか。

②農務・商工観光課職員にとって最も重要な職務は何か

③職員に欠けているのは「稼ぐ」ということである。そういう中で農務・商工観光課はそういう行動ができていない。二課を民間委託したらどうか。

答 現場の実態を把握するよう職員へ周知している

①三課のみならず、それぞれの業務については現地・現場主義でその実態をよく把握して、施策展開を図っていくことである。現場をきちんと見ることについて部課長会を通じて話をしている。

②農務・商工振興である。具体的施策はそれぞれの所で計画に沿って進めているのが現状である。

③そのようなことは考えていない。

問 一般会計から

国保会計への繰入額は

国保加入者の所得が減っているにもかかわらず、国保税は年々引き上げられ、生活を厳しく圧迫している。

こうした中で、①国保世帯主の職業別構成割合②国保加入者1人当たりの所得③国庫支出金の推移④一般会計から国保会計への繰入額はどうか。

答 被保険者1人当たり

9576円

①平成21年、厚生労働省が実施した調査によると農林水産業者2・7%、自営業者13・1%、被用者32・4%、無職36・7%、その他・不明が15・1%となっている。

②一般被保険者で平成17年度82万4190円、22年度は77万6021円で、5・8%減少している。

問 児童クラブ未設置

学区への建設予定は

各小学校区に児童クラブが欲しいというのは、子育て世代の強い要求である。

今後の児童クラブ開所、利用料の無料化についての考えは。

答 平成24年4月に

稲沢北小学校で開所予定

現在、児童クラブは小学校23校中、18学区23クラブあり、未設置学区は稲沢北・稲沢東・清水・国分・坂田小学校の5

小学校である。

今年度は、稲沢北小学校区に平成24年4月開所予定で建設を進めている。

次世代育成行動計画の後期計画では、目標年度の26年度に26か所としている。補助金の交付基準では、年間平均登録児童数が10名以上必要なことから、今後の利用状況の動向を見守りながら、地域の実情に合わせた整備のあり方を含めて検討していく。

現在、児童クラブは小学校1年生から3年生を対象にしているが、対象児童拡大については引き続き研究・検討していきたい。

利用料は、1人につき1か

問 新市建設計画から

見る将来ビジョンは

平成26年度は、新市建設計画の最終年度であり、市長の任期満了年という節目の時期でもある。

本市の将来ビジョンに対する市長の想いは。

答 観光都市として

発展を目指す

26年度は本市が大きく変わる、将来に向けてのターニングポイントになると位置づけられている。

大きく市が変わるのは新市民病院の開設、平和工業団地の操業、県が平和高校の跡地に建設する養護学校の開校、東海北陸自動車道のミニインターチェンジの開通、祖父江稲沢線の延伸等で、市内のハード事業が一気に整備され、「安心・安全で元気のある稲沢」の実現に向けて、大きく前進させていくことができると思っています。

その後の未来ビジョンとしては、矢合地区にある尾張国分寺跡の国の史跡指定、国、県、市がそれぞれ管理してい



明治スズラン児童センターの様子

ただきたいと考えている。

る祖父江ワイルドネイチャーの一体的整備により、観光都市としての稲沢を発展させていかなければならないという想いで市政を運営させていた



ワイルドネイチャープラザ(ピクニック広場)



木曽川祖父江緑地公園

問 二交替勤務導入による健康管理等の実態調査は

看護師の二交替制を一昨年に導入したが、看護師の健康管理について実態調査はしているのか。

また、市民病院内でのヒヤリ・ハット削減に向けた待遇改善への取り組みは。

答 アンケートを実施し、

広く意見を聴取している

市民病院では、勤務形態を幅広くし、働きやすい環境整

問 第5次総合計画の

進捗状況は

第5次総合計画では、本市が目指していくべき姿を施策分野別に達成目標を掲げているが、進捗状況はどうなっているのか。

答 意識・数値系指標とも

目標達成・達成見込み70%超

総合計画の進捗状況の管理は、行政評価における施策評価で行っている。

備をすることで看護師確保を図るため、平成21年10月から比較的状況が安定している患者が入院されている病棟で二交替勤務を導入している。

導入するに当たり、看護師部において、看護師にアンケート調査を実施したが、7割以上の看護師から肯定的な意見が寄せられた。

導入後約2年が経過しようとしているが、現在改めてアンケートを実施している。その中で、病棟の看護師からは「長時間勤務による医療安全や看護師の健康へのリスク」についての意見等はなく、ほとんどが二交替勤務の継続を

希望している状況である。

さらに、三交替勤務となっている病棟の中でも、9割の看護師が二交替勤務を望んでいる病棟もある。

このような状況の中で、二交替制のリスクについても十分に検討しながら進めていきたい。

ヒヤリ・ハット削減のための待遇改善については、日本看護師協会等で検討されるため、市民病院独自の取り組みは今のところ考えていない。

数値系指標では50指標中、目標達成が10、目標達成見込みが27、目標達成困難が10、測定不能3となっている。

意識系と数値系双方を踏まえた27施策では、順調・概ね順調が26、目標達成が困難な状況にあり順調でない施策が福祉・健康分野における医療の1施策ある。

今後は課題及び施策を構成する事務事業の優先度や方向性について整理し、施策目標の実効性を高め、最終年度である29年度に向けて総合計画のさらなる推進に努める。

意見書

定例会最終日に次の意見書を可決し、内閣総理大臣等に提出しました。

○定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長していくことは、すべての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子どもたちの健全育成にむけて真摯に取り組んでいるものの、いじめや不登校、非行問題行動を含めた、子どもたちをとりまく教育課題は依然として克服されていない。また、特別な支援を必要とする子どもや日本語教育の必要な子どもも多く、適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。

本年度より小学校第1学年における35人以下学級編制の法制度化がされたが、子どもたちにこれまでも増してきめ細かに対応するためには、今後、小学校第2学年以上における35人以下学級の実現を含めた定数改善計画の早期実

施が不可欠である。

また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。子どもたちが全国どこに住んでも、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、そのために、義務教育費国庫負担制度を堅持すること、また、国庫負担率を2分の1へ還元することは、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

よって貴職においては、平成24年度の政府予算編成に当たり、定数改善計画の早期実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への還元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。



9月定例会開催

9月定例会は、8月25日から9月8日までの15日間の会期で行われました。

市長からは、社会の不安要素である暴力団を本市から排除するための稲沢市暴力団排除条例の制定、市内の指定区域内で事業所の新設を行う企業に対し、奨励措置を講ずることにより企業立地及び雇用の促進を図るための企業立地促進条例の制定等9件の議案が提出され、いずれも原案を可決しました。

また、平成22年度各会計決算の認定13件については、いずれも原案を認定しました。

請願

- 採択した請願**
- 定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願
- 不採択とした請願**
- 治安維持法犠牲者への国家賠償をもとめる請願

一般会計補正予算の

主な内容

今回の一般会計補正予算額は3億4,491万6,000円が追加されました。

歳出で増額した主なものは次のとおりです。

- 総務費―地域づくり事業基金積立金2,697,000円
- 民生費―療養給付費操出金2,994万1,000円
- 農林業費―道水路改修工事費3,500万円、農村環境保全向上協議会負担金3,94万9,000円
- 土木費―調査測量業務委託料1,860万円、道路舗装改良工事費1億2,000万円、橋りょう改築工事費2,000万円、水路整備工事費3,000万円、緑の街並み推進事業補助金5,000万円
- 消防費―災害対策用備品購入費1,145万円
- 教育費―小学校一般管理用・給食用・体育館用備品購入費1,050万円、中学校給食用備品購入費5,500万円、施設整備工事費2,830万円

9月定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果	
議案第43号	稲沢市暴力団排除条例の制定について	全員賛成	可決
議案第44号	稲沢市企業立地促進条例の制定について	賛成多数	可決
議案第45号	稲沢市税条例等の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第46号	稲沢市都市計画税条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第47号	稲沢市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第48号	稲沢市道路線の認定について	全員賛成	可決
議案第49号	平成23年度稲沢市一般会計補正予算（第2号）	全員賛成	可決
議案第50号	平成23年度稲沢市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
議案第51号	平成23年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
認定第1号	平成22年度稲沢市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第2号	平成22年度稲沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第3号	平成22年度稲沢市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第4号	平成22年度稲沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第5号	平成22年度稲沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第6号	平成22年度稲沢市祖父江霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成	認定
認定第7号	平成22年度稲沢市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第8号	平成22年度稲沢市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第9号	平成22年度稲沢市コミュニティ・プラント事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成	認定
認定第10号	平成22年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第11号	平成22年度尾張都市計画事業下津陸田土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第12号	平成22年度稲沢市民病院事業会計決算認定について	賛成多数	認定
認定第13号	平成22年度稲沢市水道事業会計決算認定について	賛成多数	認定
報告第13号	専決処分の報告について	(報告)	

新議長・副議長決まる

議長に 渡辺 菱 氏

副議長に 長屋 宗正 氏

10月臨時会において

議長に 渡辺 菱 氏

副議長に 長屋 宗正 氏

を選出しました。



渡辺 菱 議長



長屋 宗正 副議長

また、次の方の選任に同意
しました。

○監査委員（議会選出）

朽本 敏子 氏

編集／議会だより編集委員会

常任委員会委員等の構成は次のとおりです。

常 任 委 員 会				市民病院建設 特別委員会	議会改革推進 特別委員会
総務委員会	厚生委員会	建設委員会	文教経済委員会		
◎桜木 琢磨 ○木村 喜信 朽本 敏子 渡辺 菱 加藤錠司郎 今井 公平 野村 英治 星野 俊次	◎出口 勝実 ○遠藤 明 東野 靖道 加藤 孝秋 六鹿 順二 曾我部博隆 山田 一己 川合 正剛	◎魚住 明 ○平田 光成 大津 丈敏 平野 寛和 杉山 茂和 野々部尚昭 服部 猛	◎渡辺 幸保 ○内藤 悦雄 向嶋 政雄 網倉信太郎 木全 信明 長屋 宗正 栗田 文雄	◎今井 公平 ○野々部尚昭 加藤 孝秋 六鹿 順二 平野 寛和 渡辺 幸保 川合 正剛 星野 俊次 桜木 琢磨	◎加藤錠司郎 ○網倉信太郎 東野 靖道 朽本 敏子 魚住 明 曾我部博隆 杉山 茂和 服部 猛 栗田 文雄

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会 <small>(議員政治倫理審査会兼務)</small> ◎野村 英治 ○山田 一己 朽本 敏子 内藤 悦雄 網倉信太郎 魚住 明 曾我部博隆 加藤錠司郎 栗田 文雄	監査委員	朽本 敏子			
	尾張農業共済事務組合議会議員	網倉信太郎 服部 猛	今井 公平 桜木 琢磨	野々部尚昭	
	後期高齢者医療広域連合議会議員	長屋 宗正			
	土地開発公社役員	監 事	朽本 敏子		
		理 事	大津 丈敏 野村 英治	遠藤 明 桜木 琢磨	長屋 宗正
国民健康保険運営協議会 公益代表委員	木村 喜信 野々部尚昭	平野 寛和 出口 勝実	曾我部博隆		

議会事務局
電 話 (代表)
0587-32-1111
F A X (直通)
0587-32-1124

※日程は変更する場合がありますので、詳細は議会事務局までお問い合わせください。

22日(木)

閉会

20日(火)

予備日

19日(月)

文教経済委員会

16日(金)

建設委員会

15日(木)

厚生委員会

14日(水)

総務委員会

13日(火)

予備日

12日(月)

質疑・一般質問

9日(金)

質疑・一般質問

8日(木)

質疑・一般質問

5日(月)

開会

12月

次回開催の12月定例会会期日程をご案内します。

本会議は、市役所3階の議場で午前9時30分から始まり
ます。

議会を
傍聴してみませんか？



いなッピー

